2026 年 3 月 5 日改定

国立健康・栄養研究所において日常生活のエネルギー消費量測定の研究に参加された皆様へ

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 臨床栄養研究センター栄養代謝研究室

標題「二重標識水法により測定した日本人のエネルギー消費量のデータベース構築とエネルギー消費量への影響要因に関する研究」につきまして、研究期間の延長を行うことについて周知させていただきます。また、引き続き実施する研究の概要を以下に示しておりますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された情報を分析してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、情報の外部提供をいたしません。

【研究期間の変更】
変更前：研究承認日から 2026 年 3 月 31 日
変更後：研究承認日から 2027 年 3 月 31 日（1 年間の延長）
変更理由：本研究での参加者のリクルートは完了しているものの、現在、未だデータ解析中であるため、研究期間の延長をお願いするものです。

【研究者と共同研究機関の変更】
変更前：田中茂穂　医薬基盤・健康・栄養研究所
変更後：田中茂穂　女子栄養大学
変更理由：共同研究者の本務先である女子栄養大学に変更をさせていただきます。

【日本人のデータベースを国際データベースに連結】
変更前：日本人のデータベース構築
変更後：日本人のデータベースを構築し、そのデータを国際データベースと連結

なお、研究不参加を申し出られた場合でも不利益を受けることは一切ございません。

研究概要

二重標識水法により測定した日本人のエネルギー消費量のデータベース構築とエネルギー消費量への影響要因に関する研究
１．研究の対象および研究対象期間 2001 年より国立健康・栄養研究所で二重標識水を用いたエネルギー消費量の測定（安定同位体を含む水を飲んでいただき、その後、ご自宅等で採尿をお願いした測定です）に参加した方（対象となる研究一覧は本資料の最後に記載しています。また、入院中の患者様を対象とした測定は含んでいません。）
２．研究目的・方法 エネルギー消費量には性別、年齢、身体組成、生活習慣、職種等様々な要因が影響します。今回は、これまでに本研究所で測定したデータをすべて統合することにより、幅広い年代、様々な生活習慣の方のデータを対象に、エネ

ルギー消費量に影響する要因を検討します。本研究では、これまで測定したデータすべてについて個人情報を削除し、匿名化したデータベースを作成します。今回、本研究において年齢・性・職業・身体組成等とエネルギー消費量の関係の検討及び各種の質問紙や加速度計で評価した身体活動量との関係を検討する予定です。さらに、WHO と FAO などが進める二重標識水法の国際データベース構築にも連携体制を構築することで日本人のデータ提供を進め、日本人のデータを用いた国際比較が可能なデータベースの構築に貢献できればと考えています。また、今後、二重標識水法によりエネルギー消費量を測定する研究においても、今回作成したデータベースを比較対照群等として活用させていただきたいと考えています。

研究期間

2019 年 10 月 4 日（倫理審査承認日）～2027 年 3 月 31 日

上記の研究期間終了後以降もデータは個人が特定できない状態で、今後の研究のために長期的に保管する予定です。

３．研究に用いる試料・情報の項目

・年齢
・性別
・身長
・二重標識水投与前と調査終了時（1 週間後または 2 週間後）の体重（インピーダンス法による身体組成を含む）
・健康状態の問診（介護度、日常生活自立度を含む）あるいは調査時に提供いただいた直近の健診データ
・二重標識水法の測定データ（飲んでいただいた二重標識水の量、尿サンプルの採尿時間、飲んでいいただいた二重標識水及び尿サンプル中の酸素及び水素の安定同位体比、それらに基づいて計算した計算値）
・加速度計による身体活動量調査データ（実施者のみ）
・質問紙による身体活動量調査のデータ（職種を含む）
・体力測定データ（歩行速度、握力）（実施者のみ）
・食事調査データ（24 時間思い出し法、秤量法、食物摂取頻度調査のうちの 1 つまたは複数）

４．試料・情報を利用する者の範囲

国立健康・栄養研究所　臨床栄養研究センター　吉村英一、畑本陽一、髙田和子
女子栄養大学　田中茂穂

５．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

データが当該研究に用いられることについて、研究に参加されたご本人もしくは参加当時未成年であった方の保護者の方、研究に参加された方が現在、適切な判断ができない場合は代理の方からの申し出により、データ使用にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
国立健康・栄養研究所　臨床栄養研究センター　吉村英一
e-mail：eyoshi@nibn.go.jp　Tel：06-6384-1120（2518）

６．対象とする研究一覧

	研究課題名	研究代表者名	実施期間	対象者

2026 年 3 月 5 日改定

(1)	日本人におけるエネルギー代謝測定のための実験	柏崎浩	2001 年 10 月～2004 年 3 月	20 歳以上男女で様々な生活活動強度をもつ者
(2)	幼児の日常生活のエネルギー消費量の測定	柏崎浩	2002 年 4 月～2003 年 3 月	3～6 歳の健康な幼児
(3)	フィールドを対象とした成人の日常生活のエネルギー消費量の測定	田畑泉	2003（平成 15）年 4 月～2004 年 3 月	20 歳以上 60 歳未満の健康な成人男女
(4)	エネルギーバランスの変動をもたらす日常生活環境要因の定量化に関する研究	柏崎浩	2004(平成16)年8月～2005 年 3 月 31 日	健康な 50～69 歳の閉経後女性
(5)	各種年代・活動レベルの対象における身体活動量の把握及び簡易な身体活動量調査方法の評価に関する研究	高田和子	2004（平成 16）年 7 月～2009 年 3 月	幼児・小学生、大学生から高齢者まで様々な生活内容にある人
(6)	各種年代・活動レベルの対象における身体活動量の把握及び簡易な身体活動量調査方法の評価に関する研究	高田和子	2009（平成 21）年 3 月～2017 年 6 月	18 歳以上の男女、性別・年代・職種別
(7)	現代の子どもの生活スタイルと身体活動レベル（PAL）に関する研究	高田和子	2009（平成 21）年 6 月～2014 年 3 月	3～17 歳の幼児・児童・学生
(8)	佐久肥満克服プログラム	渡邊昌	2006（平成 18）年 7 月～2013 年 3 月	佐久総合病院人間ドック受診者のうち、最終受診時に BMI が 30 以上であった 40～64 歳